

事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3018回 例会2024.2.1 No.1678



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

I G M 例 会

時間：18：00～

於：海老屋料理店

ここ伊那谷は大きな災害がないところと思いますが、今日では「災害は忘れる前にやってくる」となっていますので、1961年（昭和36年）に起こりました「梅雨前線豪雨」災害を思い起こしてみます。概要は1961年6月9日に梅雨入りしましたが、好天続きで空梅雨と心配される状況でした。

23日頃からようやく梅雨前線が北上・活発化して当初は恵みの雨と見なされたが、24日から本州南岸に停滞した梅雨前線が台風6号の接近に伴い26日頃より近畿・東海・甲信・関東各地の44都府県に大雨をもたらしました。全国の被害は、死者・行方不明者357名（長野県の死者134名）、家屋全壊1,758戸、半壊1,908戸となりました。

6月27日、飯田市では平年6月一か月降水量の230ミリが一日で325ミリを記録、清内路村は一日で587ミリとなり各地で土石流が発生、流木で決壊が起こり飯田盆地は広範囲で浸水した（534ヘクタール）。6月29日午前9時10分頃下伊那郡大鹿村の大西山（1741M）が、山裾を流れていた小渋川に向かって山体崩壊（トップリング）して、川の水を巻き込んだ土砂は一瞬にして対岸の集落を呑み込んだ。崩落は高さ450M、幅280Mで大量の土砂（350万立方M）で、田畑や分教場などと共に39戸が土砂に呑まれた。死者は42名を出した。伊那谷の被害規模は、死者・行方不明者124名、家屋全壊898戸となりました。宮田村では、被災者家族の移住先として、大久保

地区の宅地造成を進めて、大鹿村の家族19家族が翌年1962年（昭和37年）に移住されました。そして私の会社は5人の男性の入社を受けまして協力しました。その後お一人は会社の役員にられました。

それでは本日のテーマは下記の4つとしました。忌憚のない意見をお願いします。

*テーマ①：「昭和36年 豪雨災害の再来」

*テーマ②：「天竜川の氾濫：諏訪湖釜口水門決壊」

*テーマ③：「中央道、長野道、JR各路線の土砂崩れで不通」

*テーマ④：「65周年旅行の行き先」

各班報告（一部抜粋）

A 班 ◎藤澤秀敬 ○唐木 拓 小林旬子

増田 清 本島清隆

1. 記録によると、松川で大鹿村路線のバスが二台流された。宮田村で移住者が多く知らない苗字の人が増えた。

2. 2006年には、箕輪町で決壊があった。

諏訪地区で大量の雨が降ると、こっちで降ってなくても影響がある。

3. 中央道のおかげで、水が一旦止まってくれるので、恩恵を受けている。鉄道も倒木で、たまに止まってしまう。



4. 65周年旅行先については復興支援割が出る北陸はどうか。11月からはカニが解禁となる。

B 班 ◎唐木一平 ○藤本和寿 唐澤洋祐
中川博司 神山公秀

1. 大きな災害を忘れてはならない。(教訓を伝えていかなければいけない)とにかく、何よりも「命」を守ることを第一として、地域の中で考えていく必要があります。



2. 天竜川の氾濫は大雨によるダムの決壊や水があふれることも可能性として考えて対策していく必要がある。(戸草ダムを含めて)

3. ヘリコプターによる救助のためのヘリポートの整備、有事の際を見越した道路網整備を見直していく必要がある。伊那谷は南北の幹線道路は比較的整備されていますが、東西を結ぶ幹線道路が少ないので、避難経路や救助経路を確保するためには東西の幹線道路の整備も必要ではないかと思う。

4. 行き先はプロに任せます。(過去、黒部ダムに行ったが、とてもよかった)2泊がOKなら、できれば台湾などの海外もいいかも。

C 班 ◎小河節郎 ○吉田秀樹 三澤 聡
宮下 裕 山崎秀亮

1. 平成18年の豪雨災害時には伊那で橋が2本落ちるなどの被害が出たため、その後、河床を下げる工事や川幅を拡げる工事といった対策がなされてきたが、土木に



詳しい会員からは、そもそも防災対策の根拠となる地盤が水を吸う力などが、最近の宅地開発などで変化しており、見直しが必要といった意見が出た。

2. 釜口水門は、下流域への影響よりも、そもそも諏訪地域を水浸しにしないことを優先されているのではないかと。諏訪地域と上伊那、下伊那全

体で考えないといけない問題。

3. 3年前の大雨で、JR飯田線の鉄橋が落ちて一時、不通になるなど災害に弱いことが課題。

伊那谷は中央構造線の傍にあり地震災害も考えないといけない地域。

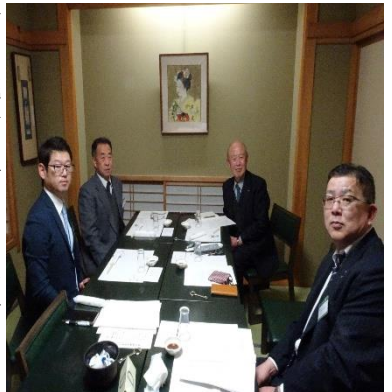
地震に関しては耐震基準があるが、建物の構造や揺れ方によって大きく影響する。そういった知識も知っていなければ、震度5までなら大丈夫といった単純な話ではない。

4. 予算があれば、一泊二日でも韓国の済州島に行くことも可能。受入れが再開しているのであれば、復興支援も兼ねて能登半島。

劇団四季や歌舞伎座、大相撲観戦なども検討して欲しい。

D 班 ◎山田 益 ○八木択真 唐木 章
本田敏和 松平 歩

1. 美和ダムの決壊が不安、土砂を流すバイパスが完成したけれど、すでに高速ダムも埋まっている。美騫などの三峰川沿い一帯は、洪水が多く本来住む場所ではない。



伊那谷は地震はないが、豪雨は数年に一度ある。三六災害以降は大きな人的被害がなく、恵まれてるところだと思う。熊本水害ではダムがなくて被害が大きくなった、ダムは必要。

2. 釜口水門から天竜川に流せる水量が増え、諏訪も浸水しなくなった。雨量の予測が正確になった。予測できるのであれば前もって流すのが大切。

3. インフラ整備は国がやるしかない。政治家は隅々まで目を配ってほしい。そう考えると田中角栄はすごかった。

伊那谷にとって中央道は非常に重要。中央道ができる前は陸の孤島だった。

中央道ができて便利になったが、恵那山トンネルは石油タンクローリーが通れないため、南信はガソリンが高い、扇屋石油さん、伊那燃料さん、よろしく願います。

4. 5年前は白エビの時期の富山行きを計画したが、コロナで中止になった。富山・金沢のホテルは災害の影響はまったくない。

山国だから海辺に行きたい。長岡の花火はどうか。山本五十六記念館など見所もある、田中角栄ゆかりの地でもある。